

# 相談支援室さんさん幸陽

## 平成 29 年度事業報告（4 月 1 日～9 月 30 日）

### 1, 事業概要

- (1) 施設種別：指定特定相談支援事業 (4) 事業開始年月日：平成 25 年 6 月 1 日  
(2) 設立運営主体：社会福祉法人 大田幸陽会 (5) 主たる対象：知的・身体の各障害者  
(3) 所在地：〒144-0034 東京都大田区西糀谷二丁目 31 番 2 号大田幸陽会ラナハウス西糀谷 101

### 2, 職員配置

管理者(室長)	兼務 1 名	相談支援専門員	専従 4 名、兼務 1 名
事務員	兼務 1 名	参与	兼務 1 名(非常勤)

### 3, 今年度の重点目標に対する取組状況

- 1) 地域における相談支援体制の構築及び拡充(基本相談支援及び計画相談支援の推進を継続し、利用者個々の地域生活継続・生活基盤確立に向けた支援のためのサービス担当者会議や事例に基づいた各関係機関との連携を通して、地域生活支援拠点の構築を目指す。)  
⇒計画相談プロセスを通して、実践に基づく関係機関等との連携を行うことで、地域生活支援拠点の構築を図っている。また、サービス担当者会議の他、計画相談以外の必要時による基本相談やケア会議等を適宜実施し、相談支援の充実やサービス提供事業所との連携強化を行っている。
- 2) 相談支援の質の向上(日常的な事例検討や権利擁護等の研修を通して人材育成を図り、地域生活支援を担う人材の輩出を目指す。)  
⇒法人内相談支援従事者会の実施、相談支援連絡会おおたや大田区自立支援協議会相談支援部会、大田区相談支援従事者初任者研修(ファシリテーター)、相談支援関連の外部研修等に参加、また日々のミーティング内で情報共有、事例検討等を行い、相談支援の質の向上を図っている。
- 3) 併設された居住系事業所(居宅、GH)との連携強化(地域ニーズに応える事業展開を促進する。)  
⇒事例を通して、居住系事業所(居宅・GH)と連携を取り、地域生活拠点整備を進めることで、地域ニーズに応える事業展開を促進している。

#### 4, 相談支援実施状況

地域福祉課 別 利用者数	28年度					29年度(4月1日～9月30日)					
	28年度末 対象者把握数(人)	サービス 利用支援	継続サー ビス利用 支援	サービス 利用支援 (モニタリ ング含)	合計 (件)	29年度 対象者把握(人)	サービス 利用支援	継続サー ビス利用 支援	サービス 利用支援 (モニタリ ング含)	終 結	合計 (件)
大森	147	2	231	117	350	144	3	113	58	5	174
蒲田	93	3	168	56	227	95	0	69	40	1	109
糀谷羽田	61	7	111	36	154	60	0	59	20	2	79
調布	77	4	116	54	174	74	0	59	35	1	94
大田区外	6	0	12	4	16	7	0	7	0	0	7
合計	384	16	638	267	921	380	3	307	153	9	463
契約者数	平成28年度末 契約者数:A	新規契約者数:B		終結者数:C		現契約者数:D D=A+B-C					
	384	5		9		380					

※ 実績：平成29年4月～9月迄の面談/聴き取りの件数

- 1) 法人内事業所：対象利用者の計画相談実施(継続的なモニタリング実施)
  - ・居宅等訪問に関しては相談場所等の希望を聴取し、基本相談による訪問を含めて78件行っている
- 2) その他：法人内相談支援体制の拡充に合わせて、大田区内での基本相談および計画相談を実施している
  - ・計画相談外ケア会議 8月(9件)、9月(12件)
  - ・基本相談対応件数 8月(329件) 9月(301件) \* 電話、メール、FAX等含む

#### 5, 危機管理

個人情報管理：法人内「個人情報保護規程」により、適切に対応している

#### 6, 職員研修

- 1) 目的：相談援助技術の向上
- 2) 外部研修：東京都相談支援従事者初任者研修(4名)  
東京都相談支援従事者現任研修(1名)  
その他外部研修の受講(精神保健福祉研修等)
- 3) 内部研修：事例検討会の開催(毎月2回 ケースについて情報共有並びに検討課題の共有)・階層別研修・法人全体研修会・法人相談支援従事者会

#### 7, 地域・関係機関との連携

相談支援連絡会おおた、大田区自立支援協議会(相談支援部会)、その他地域関係機関等